



青 垣

第 54 号

平成三十年一月一日発行

奈良県橿原市久米町九三四

奈良県神社庁内

発行所 奈良県神道青年会

電話〇七四四一三二四七三

編集者 広報 報 部



祝祭日には
国旗を
揚げましょう

たゞ何事も、もつつ心の
なほきにかへりみよ。

賀茂真淵・国意考



会長 挨拶
榎原神宮権禰宜 多田佳史

先の定例総会で花房兼輔会長の後を受け、奈良県神道青年会会長に就任しました、榎原神宮権禰宜の多田佳史です。浅学非才の身で会長の器ではありませんが、先輩諸兄の思いを引継ぎ、理事役員と共に精一杯、当会の充実・発展に務めたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

さて、平成二十七年年度は終戦七十年、平成二十八年年度は神武天皇二千六百年と大きな節目の年回りで、奈良県護国神社で斎行される奈良県出身戦没者追悼式の助勤奉仕や神武天皇聖蹟顕彰碑の清掃活動等、新たな事業が実施されました。本年度はそのような新しい事業は出来ていませんが、恒例行事をひとつひとつ丁寧に実行することを心掛け、その一つ一つがより良い事業となつていくと実感しています。ひとつを例に挙げますと、近畿地区連絡協議会の行事ともなっている祓・鎮魂鍊

成研修会については、当会が主管というものの、運営等は会場となつている石上神宮に甘えている状態でありましたので、本年度は久々に当会役員で祓場の清掃活動を実施したことにより、少しは主管としての役目は果たせたと思っております。

また、当会五十周年記念事業の目玉ともいえるホームページですが、まだ十分に活用できていないといえませんが、紙芝居団の活動についてはその都度ブログで紹介出来ていますが、他の活動については余り出来ていませんし、神社庁のホームページともリンクしている神社検索のページもまだ完成していません。私が五十周年事業の実行委員長でもありましたので、私が会長であるこの任期中に何とか目処を付けたいと考えています。

他にもやりたいことはたくさんありますが、時間と人数に限りがあります。少しずつ、出来る範囲ではあります。着実にこなしていきたいと思えます。そして、本年度は特に大きな行事はありませんでしたが、来年度は二年に一度の皇居勤勞奉仕青垣奉仕団を開催しますし、六年に一度の近畿地区連絡協議会の当番県が回ってきます。より一層のご協力をお願い申し上げます、会長の挨拶と致します。

平成二十九年年度

定例総会

去る平成二十九年四月二十四日に奈良県神社庁において、会員三十一名出席のもと、平成二十九年年度定例総会が開催された。

議事では議長に平田佳管理事が選出され、平成二十八年度活動報告と平成二十八年度決算報告、会計監査報告が行われ承認を受けた。次に本年は役員改選の年に当たり、先の臨時総会において承認を受けた多田新会長より次期の理事役員の報告があり、これも承認を受けた。そして、新事務局長より平成二十九年年度活動計画案、新会計より平成二十九年年度会計予算案が報告され、異議なく承認を受けた。

総会終了後には場所を橿原観光ホテルに場所を移して懇親会が開催された。総会に引き続き、樋口副庁長にご臨席を賜り乾杯の発声を頂戴した。そして参加者一同、懇親を深めることができた。

多田新会長のもと、新たな船出となる定例総会を恙なく終えることができた。
(事務局)

奈良県神道青年会
理事役員



会 計
水島 和良
(大神神社)



事務局長
上谷 義房
(大神神社)



副会長
樋口 忠親
(廣瀬神社)



副会長
越智 康介
(春日大社)



理 事
大森 啓史
(往馬坐伊古麻都比古神社)



理 事
稲熊 憲彦
(龍田大社)



理 事
井関 亮輔
(春日大社)



理 事
鈴木 健太郎
(春日大社)



会 長 多田 佳史
(橿原神宮)



理 事
尾田 交之
(等彌神社)



理 事
久保田 昌伯
(大神神社)



理 事
林 哲也
(石上神宮)



理 事
平田 佳誉
(薬園八幡神社
奈良県神社庁)



監 事
神田 憲明
(御霊神社)



監 事
高井 春明
(大神神社)



理 事
林 正裕
(荒神社)



理 事
鈴鹿 迪胤
(高鴨神社)



理 事
西田 周司
(橿原神宮)



理 事
高銜 義嗣
(橿原神宮)

八期十六年

葛木坐火雷神社（笛吹神社）

宮司 持田 昭久



平成十三年、奈良県神道青年会理事就任から、平成二十九年四月、神道青年全国協議会監事の任期を終えるまで、八期十六年の青年会活動では、多くのお役を戴き、様々な経験をさせて戴きました。研修会や勉強会に参加しては多くの事を学び、講演会等では新たな発見や感動を覚え、懇親会等では交流を広げ親睦を深める事が出来、全て私の人生の糧となりました。多くの先輩諸賢に育てて戴き、多くの同志と語り、多くの後輩に支えられ、一人では為し得なかつた経験です。その経験を多くの同志に語り、伝え、時には叱咤激励し、それぞれの立場で活躍される事を期待してきました。それは私が先輩諸賢から育てて戴いた経験から、自然と同じように振る舞ってきたのだと感じています。私の八期十六年の姿を皆さんはどのように見ておられたでしょうか。どのように受け取られたでしょうか。

青年会の活動に参加したら、参加者はその内容を会に報告します。それはこの会報等を通じて会員全員に伝えられます。参加者だけの経験ではなく、会員全員で共有する仕組みは既に仕上がっています。会員の中には、専業の神職、兼業の神職、累代の社家、未婚、既婚、宮司、禰宜、権禰宜、父、母、一日を白衣袴で過ごす者、一日をスーツで過ごす者、同じ青年神職とはいえ非常に多様な立場の会員が居ます。斯界の尖兵は、伝統を大切に守りながらも時代の変化を敏感に捉え、その活動に生かしていかなければなりません。情報伝達速度は年々速くなり、その量も膨大になっています。それらを自身でどのように感じて取り入れるか、それぞれの判断が重要になるでしょう。

今後奈良県神道青年会が、会員遍く同じ思いを共有し、学びや経験が享受出来る活動を活発に展開される事を期待しています。

奈良県神道青年会会報『青垣』がカラー印刷となった第四十八号から、平成二十九年一月一日発行の第五十三号まで、その年々の私の駄文が掲載されております。是非こちらにも合わせて御覧下さい。

前会長挨拶

談山 神社

権禰宜 花房 兼輔



今回は、「今後の奈良県神道青年会に対しての期待やこれまでの活動で感じたこと」というお題をいただきましたのでそれについて書いてみたいと思います。

奈良県神道青年会は例外はありますが、満四十歳を定年として活動をしています。私のように二十年近く役員として活動する者もいますが、一年程で定年を迎える者もいます。この限られた期間は、会員それぞれ置かれた環境に大きく左右され個人の想いではどうすることも出来ない場合があり悔しい思いをされた方もいるのではないのでしょうか。逆に面倒を押し付けられたと感じる方もいるでしょう。私もよくわからないまま役員に就任させていただいたこともあり最初のうちは面倒に感じることも多々ありましたが、神道青年会での活動を通じて出会いの中で得ることのできる経験はとても興味深いものであり、この経験を活かすことにより自分が成長していくことや、諸社から参加している者としては他社との繋がりを感ずることを嬉しく思いました。会員の皆様も面倒だと感じる事が無くなることはないでしょうが活動で得られる経験を人生の宝とできるなら面倒もしいがあるのではないのでしょうか。延いては神社界の発展のためにも積極的な活動への参加をお願い致します。

奈良県神道青年会は昭和三十九年八月十六日に創立されてから五十二年と数か月が過ぎました。当会を取り巻く環境は大きく変わり、会員の意識にも多少なりとも変化があると感じます。会の在り方や活動の内容を時代に合わせていくことも大事なことだと思いますが、その時には今一度先輩諸兄の思いや活動を振り返っていただければより良い会の発展へと繋がることと思います。

色々書いてみましたが明確な期待や要求はありません。ただ、これから何代も続く会長さんの元、会員皆が力を合わせそれぞれの色を出していただいたら良いと思います。

神話紙芝居団「かたりべまほろば」活動報告

まず本年度公演として、榎原神宮林間学園後の子ども会においての公演と、春日大社所属ガールスカウト・ボーイスカウトの夏の実習での公演を行った。これらの公演は毎年の恒例となっており、子ども達を対象に行われている。皆熱心に話を聞き、喜んでくれる。今日ではあまり語られる機会が少なくなった神話を子ども達にも触れてもらい興味を持ってもらう機会であるので継続実施していきたい。

六月九日に藤岡家住宅 管理法人・NPO 法人、うちの館「紫陽花のランチサロン」というイベントにおいて公演を行った。対象が皆大人で年配の方が中心であった。興味深く最後まで観ていたでいて、またこちらもよく演じられたと実感が持てた。先方から大変ご好評をいただいております、またお願いしたいとのことでしたので、毎年恒例になるようさらに励んでいきたい。

八月八日に近鉄百貨店 榎原店において、「夏休み子ども博IN榎原」というイベントがあり、その中の一つで紙芝居の公演があった。公演は午後から二度行った。近年かかさず公演をしており、こちらもありがたいことにご好評をいただいております、老若男女問わず多くの方々にご覧頂けるので、神話普及の場として貴重な公演になっている。今後も長く続けられるよう大切にしていきたい。

八月十六日には、奈良県護国神社にて「東市高円の杜夏まつり」の参加者に対して公演

を行った。終戦七十年の期より、奈良県神道青年会の事業として護国神社で紙芝居の公演をさせて頂いた。今年で三回目となった。夏まつりということで、子ども達がよく集まっております、できるだけ理解してもらえようように意識したが、演目が少し難しかったのか、子ども達より親御さんの方が熱心に観られていたようであった。

さらに九月二十二日に葛本神社にて公演を行った。葛本神社の例祭の祭典後すぐに、参列していた氏子の皆様が対象であった。御祭神が天照大神であるので、関係の深い演目を行い、氏子の皆様にも御祭神の神様がどのような事をされたかを神話を通して少しでも知っていただければ幸いです。このような場も増えていけばよいと感じた。また、雨天の中最後まで観ていただけだったので、有難かった。今年度の公演を通して、公演の対象者の年代に応じた台本を作成することを視野にいれないといけないと感じた。やはり、神話は難しい表現をしているところもある。できるだけわかりやすいように演じることを心掛けていますが、子ども達の目線に沿った内容に作り変えるなど、今後の課題として取り組んでいきたいと思う。

団内の活動としては、昨年に引き続いて練習の場を増やし、親睦会も開催した。団員同士打ち解けあい、団員の中からも紙芝居の練習が楽しいとの声も上がっており、今後も更に盛り上げていきたい。また、公演依頼がた

くさんあると団としてもやりがいを感じており、できるだけ多くの方に紙芝居で神話にふれてもらえるよう皆で励んでいきたい。

公演をするにあたり、皆様方のご理解、ご協力が必要となつていきますので何卒よろしくお願い致します。

最後になりましたが、今回の多くの公演においてお世話頂いた、関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。
(往馬 大森)



5/18

神宮・京都・奈良 三神青親睦野球大会

平成二十九年五月十八日、恒例の神宮・京都・奈良三神青親睦野球大会が行われました。

今年は当番県に当たっており、檀原運動公園野球場での開催となりました。

初戦京都が人数不足と言うことで、急遽上谷事務局長、高銓理事がレンタル移籍するというバタバタがありました。初回から足を絡めた攻撃に相手のミスが重なり毎回得点の七対二で勝利。

続く例年接戦となる神宮戦、初回幸先よく一点先制。その後走者は出すものの、まさかの三重殺などで無得点。

守っては若手のホープ宮崎会員を中心に最終回まで一失点で凌ぎ、最終回失策で出た走者を三塁に置きながら連続三振で切り抜け引き分けに持ち込みました。

試合後は檀原観光ホテルで懇親会を行い、近畿大会十六年ぶりの優勝へ向けて英気を養いました。多田会長を中心にとままとった素晴らしいチームになってます。もう二度と負けない!!

参加者

大神神社:

上谷・水島・野々村

鈴木・橋本・宮崎

檀原神宮:

多田・高銓・園池

諸社:

平田・林・刀禰

(荒神社 林)



6/5

近畿地区連絡協議会定例総会

去る六月五日、大阪市内のホテル阪急インターナショナルにて、平成二十九年度神道青年近畿地区連絡協議会定例総会が開催された。

定例総会に先立ち、研修会にて、国内でも珍しい講談師である四代目玉田玉秀齋先生に講談をいただき、講談の歴史に引き続き、「大阪の陣」の物語を落語とも狂言とも違う大胆な語り口で、聴かせていただくことができました。日頃から参拝者の方に神社の案内をすることが多い中、伝え手の話し方や問合いが、どれだけ聞き手への伝わりやすさに繋がるかということのを再認識するとともに、「聞かせる技術」というものを学ぶことができました。大変良い経験となった。

研修会の後、六人部副会長による開会の辞で、定例総会が始まり、続いて長谷川会長が任期の二年間を振り返り、近畿二府四県は、ひとつの心で今後も結束していける会であってほしいと語られた。次に当番府県である大阪府神道青年会新海会長より挨拶があり、来賓代表の大阪府神社庁田所副庁長並に神道青年全国協議会浅野副会長よりご祝辞を賜った。

その後は議事に移り、会務報告と役員の変更が可決され、田中新会長以下新体制への引き継ぎが行われた。最後に矢頭新副会長の閉会の辞をもって、定例総会滞りなく終了した。

引き続きの懇親会では「近畿はひとつ」の目標のとおり、皆様親睦を深められ、非常に賑やかな雰囲気懇親会は進んだ。その中で新会長より、前会長へ花束が贈呈される等、任期を全うされた前会長を労う催しが行われ、会場全体からも惜しめない拍手が送られた。

(春日 井関)

6/6

近畿地区連絡協議会野球大会

平成二十九年六月六日、近畿地区連絡協議会親睦野球大会が大阪府の万博記念公園スポーツ広場にて開催されました。昨年度は決勝まで進むが大阪神青に惜敗し、平成十三年から遠ざかっている優勝を逃してしまいました。今年こそは優勝、多田会長(檀原)を胴上げするために定期的に練習を積んできました。迎えた当日、初戦の和歌山神青戦は今年から本格的に投手を始めた橋本会員(大神)が先発し、危なげない投球で和歌山打線を抑えた。打っては水島理事(大神)の本塁打もあり六対〇で快勝。

二戦目の兵庫神青戦は、序盤は相手投手を打ち崩すことができず、緊迫した試合展開となったが、終盤に相手のエラーと宮崎(大神)の本塁打、平田理事(薬園八幡)の三塁打で大量得点となり十対二で圧勝。

決勝は昨年と同じく大阪神青戦となり、昨年の悔しさを晴らすためにチーム一丸となって挑んだ。先発は宮崎(大神)、抑えに橋本会員(大神)の継投で、毎回ランナーを出すが好守備もあり、六回完封リレー。打っては、四回に主軸の林理事(荒神社)の二塁打、多田会長(檀原)の二塁打と打線が繋がり、この一回一挙五得点となった。また五回には林理事(荒神社)の安打で更に得点し、これが決勝打となり十三対〇で、平成十三年ぶりの優勝を成し遂げた。



大会後はホテル阪急エキスポパークにて表彰式並びに懇親会が行われ、試合の緊張感とは打って変わり、和やかな雰囲気の中で他府県の青年会の方々と交流を深めることができました。来年度も優勝し二連覇を目指したい。

(大神 宮崎)

6/19

石上神宮禊場清掃奉仕

去る六月十九日、多田会長をはじめ計八名が石上神宮に於いて禊場及び関連施設の清掃奉仕を行った。

この活動は七月十日から十一日にかけて行われる奈良県神道青年会が主催し近畿地区の事業でもある「禊・鎮魂錬成研修会」に先立ち、会場のご提供とご指導を頂くに当り行ったものである。

当日は好天に恵まれ午前十時に集合し、長生殿をお借りして作務衣に着替え、多田会長の挨拶の後、全宮より湊権禰宜、林権禰宜に作業内容の指示を頂き、各場所に分かれて作業を開始した。作業内容は禊場の清掃、禊場までの参道脇にある枝や倒木をチェーンソーで切断して運び出す作業、イノシシに荒らされた場所を整地する作業、草抜き等。参加者は汗をかきながらも午後五時まで一生懸命従事した。

以前は奈良神青が今回の様に研修会を行う前に清掃奉仕を行っていたが、いつの間に行われなくなっていたようだ。貴重な研修会を開催できるのも石上神宮のご協力あつてのことであり、清掃奉仕は私達青年会にとって会場のご提供とご指導を受ける心構えを再確認する機会となり力を合わせて作業をすることで交流にもなった。今後も研修会の前はこの活動を継続していきたいと思う。

(廣瀬 樋口)

7/10
11

禊・鎮魂鍊成研修会

去る七月十日・十一日、石上神宮に於いて、奈良県神道青年会主催の禊・鎮魂鍊成研修会が開催されました。地元奈良県をはじめ、近畿地区各単位会からの多数の参加者の中、一日半という短期間の研修ではありましたが、とても充実した研修でありました。

禊・鎮魂に於いては、学生時代の神社実習以来であり緊張もありましたが、皆で禊場を囲みいざ始めると無我夢中に取り込み、参加者の心一つにすることで自分自身の中にある迷いや不安、そういったものが浄化されるような気持ちになり、大自然の中でその自然の力を自分の活力に変えることができるように思いました。又、今回の禊・鎮魂鍊成研修会を無事に終え、私が見つめ感じましたことは、石上鎮魂行法の奥の深き事でありました。私のような日常を過ごしている者にとって石上鎮魂行法を少しではありますが体



験させて頂きました事は、日々の神職としての経験だけでは本当の意味での神明奉仕には至らないという事、又改めて自分の精神鍛錬の未熟さを痛感致しました。

この研修会において自ら経験し、心で感じました事は、これからの神職としての神明奉仕をしていきます中で大きな糧となります事は勿論であり、更に日々精進を重ねてゆこうと心より思っております。今後、このような精神鍛錬の機会がございましたら、積極的に参加させて頂きたいと思っております。

最後になりましたが、神聖靈妙な境内を研修会にご提供頂きました石上神宮の皆様、またご多忙の中ご指導頂きました森宮司はじめ講師の皆様方に心より深謝御礼申し上げます。
(檀原 佐々木)



7/19

奈良県神社庁長杯 親睦ゴルフ大会

七月十九日、例年恒例の奈良県神社庁長杯親睦ゴルフ大会が開催された。本年の大会はプレディアゴルフ(五條市)で行われ会員八名、OB五名の計十三名が参加した。



開会式では林理事(荒神社)司会の下、多田会長(檀原神宮)の挨拶、次に中熊先輩(檀原神宮)にご挨拶いただき大会の意義、大切さをお話いただいた。続いて、葛城先輩(葛木神社)に始球式でコンペがスタートした。

当日は、非常に蒸し暑い天気の中でのプレーとなり、トリッキーなコースに悩まされた方、日ごろの練習の成果を発揮した方、スコアに関してはさまざまであったが、体調を崩す方もなく楽しくプレーすることができた。

プレー後は成績発表が行われ、優勝は多田会長(檀原神宮)、準優勝、石津先輩(檀原神宮)、三位、水島会計(大神神社)となった。成績発表の中で各自持ち寄った景品の交換を行い、各賞受賞者には賞品が授与された。今大会は、日程の都合で炎天下の下での開催となったが例年通り会員、OBの懇親を深めるよい機会となった。次回はさらに大きな大会となるよう努力いたしますので皆様のご参加をよろしく願います。

《個人》

優 勝 多田 佳史(檀原神宮) N 72・8

準優勝 石津隆康(檀原神宮) N 73・8

三位 水島和良(大神神社) N 74・2

《団体》

優 勝 檀原神宮チーム

《ベストグロス》

石津隆康(檀原神宮) G 81

《ニアピン&ドラコン》

ニアピン 石津隆康 ドラコン 出村 大総
(神社庁 平田)

8/15

奈良県出身戦没者追悼式

去る平成二十九年八月十五日に奈良県護国神社にて英霊にこたえる会奈良県本部主催による戦没者追悼式が行われ、当会からは祭員、奏楽奉祀者として多田会長をはじめとする六名が参加させていただきました。

式では、戦没者の御遺族をはじめ国会議員や県会議員などの参列者全員で黙祷を捧げた後、大正琴の楽に合わせ『同期の桜』『ふるさと』の合唱が御霊に献じられました。また、『英霊にこたえる会県本部』の森岡正宏会長らが追悼の言葉を述べ、「多くの犠牲があつて、七十二年間の平和があることを忘れてはいけない」と話されました。

私は、昨年に引き続き今年も祭典奉祀させていただきますました。神職として英霊にこたえるということの一つはこういった祭典奉祀さ

せていただく事、またそれを継続していくということではないかと思ひます。

最後に改めて終戦から七十二年を迎えるにあたり奈良県出身戦没者二万九千二百三十四柱の御英霊に感謝の誠を捧げたいと思ひます。

(高鴨 鈴鹿)

8/30
31神道青年全国協議会夏期セミナー
奈良県・宮崎県 姉妹神青交流会

去る八月三十日三十一日の二日間にわたり神社本庁において、神道青年全国協議会夏期セミナーが開催されました。今回のセミナーの主題は、「日本の心を紡ぎ伝える」であり、まず初めに特別講師であらせられる杉子女王殿下から特別講演を賜りました。殿下はオックスフォード大学に留学しておられた経験から日本の四季の尊さ、伝統文化の素晴らしさを説かれました。また「心游社」という団体を創設され、子供たちに日本の文化を広く伝える活動をなさっています。殿下はその中で子供たちに教えるのではなく、親子で体験し同じ目線で一緒に楽しむということを大事にしておられました。これは、幼少期に体験し

楽しかったという思い出の種をまく事により、それが将来心の中でよみがえり、また次の世代の子供たちに受け継がれるという思いからだそうです。そうやって日本の伝統文化は親から子へ、子から孫へ継承されていくのだと感じました。いままで脈々と受け継がれてきた日本の文化を私達の代で絶やすこと無く次

世代に伝えなければならぬと強く心に思ひました。

特別講演の後の第一講は宮内庁掌典職掌典次長まで務められた山田蓉先生に宮中祭祀について講演を賜りました。宝鏡奉齋の神勅(同床共殿の神勅)以来受け継がれてきた祭祀がどのような変遷を経ていまに至るのか、宮中でどのような祭祀が行われているのかという基本的な部分から日本の祭祀の原点に立ち返るお話をされました。また第二講では國學院大学准教授の藤本頼生先生から皇室の制度と歴史・現行皇室典範の課題についての講演を賜りました。特に明治に定められた皇室典範が戦後のGHQの指導のもと日本側のさまざまな思惑と交渉の末に今の皇室典範が作成された経緯を詳しく伺いました。

昨年、八月八日に陛下が「おことば」を出されて以来皇室典範や皇室のあり方について様々な議論が交わされています。また先般には皇室典範にかかる特例法も成立しました。これにより皇室関係法令の不備、皇室制度に関する課題、GHQの占領政策による様々な弊害を思い起こし、本来の日本のあるべき姿を考えるよいきっかけになっていっているのではないかと思います。我々は青年神職としていかにして大御心に沿うことができるのか、今回学んだ皇室の祭祀、皇室の制度の歴史と変遷を踏まえこれからの皇室及び日本国のあるべき姿を求め次世代に伝えていかなければならないと考えさせられました。

また夏期セミナー一日目終了後には平成二

十四年に神武天皇の御神縁により姉妹神青となりました宮崎県神道青年会の方々と交流会を新宿の鳥貴族にて行いました。一年に一度の貴重な交流の機会に互いの近況を報告し合い、親睦を深めることができました。

(大神 橋本)



9/13

奈良県神社庁長杯親睦スポーツ大会

平成二十九年九月十三日に、恒例の奈良県神社庁長杯親睦スポーツ大会が開催されました。

今回は、春日大社・大神神社・橿原神宮・諸社の四チームによるボウリングのチーム対抗戦と個人戦を行いました。

私は、ボウリングが余り得意ではないのですが、ゲーム中は他の神社の方々と交流を深める事が出来、楽しい時間を過ごせました。その後、懇親会を橿原観光ホテルで行い、対抗戦と個人戦の表彰が行われました。

対抗戦は

- 1、大神 四九三点
- 2、諸社 四六七点
- 3、橿原 四一三点
- 4、春日 三六〇点

※各社上位3名のスコア合計

個人戦は

- 1、水島理事 五二六点
- 2、林(正)理事 四一七点
- 3、大野会員 四一六点
- 4、多田会長 三九〇点

※3ゲームスコア合計
でした。



普段関わりのない他の神社の方々とスポーツを通して交流をし、貴重な時間を過ごす事が出来ました。(橿原・書記 松本)

9/28

皇室関連施設清掃奉仕

去る平成二十九年九月二十八日近畿圏の各神道青年会会員三十余名と共に京都御所に於いての清掃奉仕に参加させていただきました。早朝、天候を心配しておりましたが、雨に降られることなく、無事ご奉仕をさせていただきましたことができました。

御所内の砂利は白石と黒石が使用されており、見学者等の通行により両色が混ざり合ってしまうとのことで、この石を拾い集めて元の場所へ戻す作業が今回の奉仕内容でありました。我々の人数で行っても途方もない作業ですが、普段は数名の職員の方のみで行っているとのことで、日々いかに景観維持の為に苦心しておられるか、その片鱗を垣間見た気がいたしました。

午後からは御所内各施設を案内していただきました。多数の見学者を迎え入れており、日々の地道な活動こそが多くの方を惹き付ける景観を生み出しているのかと感銘を受けるとともに、僅かなりともそのお手伝いをさせていたただいたことを大変嬉しく思いました。このような貴重な経験をさせていただいたことに對しまして、心より御礼申し上げます。

(橿原 樺山)

10/24

南都聖和会との親睦交流会

去る十月二十四日、春日大社に於て神道青年会・南都聖和会との親睦交流会が開催されました。県青年会より多田会長をはじめ十四名・南都聖和会より久保会長をはじめ十名の計三十一名の参加となりました。

当日は春日大社大宮にて昇殿参拝。その中で神楽の奉納、更には聖和会一同による読経のご奉仕を賜り、南都の古式ゆかしきご参拝となりました。



その後、境内施設・景雲殿に場所を移し救

命処置講習会を実施致しました。近年、国内外より奈良県を訪れる方が増加の一途をたどり、各社寺にあっても急患発生時の対応が必要な為、有事に備え

企画されたものです。今回は国際警備保障株式会社より講師として磯部明夫氏をお招きし、元救急隊員としての経験をふまえ、座学と実際にAEDを使用しての心肺蘇生法についてご教授いただきました。



「救命処置の際のAED使用が蘇生率に大きく影響する。心臓停止後三分で人間の脳は停止し始める。蘇生させる事だけが目的ではなく、救急患者の社会復帰を視野に入れてこそ救命である」との重要性をお話しいただきました。

急患に遭遇した場合、知識のみでは実際に現場で対応する事は困難です。実践を体験することにより状況判断や勇氣ある行動が可能になると思います。迅速かつ冷静な対応を日頃より心がけたいと切に感じました。

今後も多くの方の参拝者をお迎えするにあたり、万事に備え、快くご参拝いただける環境を整えて行きたいと思えます。

本年も神と仏の隔てなく、有意義な交流会となりました。(春日・録事 渡邊)

11/29

第二回勉強会

去る十一月二十九日第二回勉強会として青年会八名OB三名が参加し、第二回勉強会並びに鳥見山中靈時聖跡顕彰碑清掃奉仕を行いました。等彌神社は桜井市桜井に鎮座する神社で、境内地の南に神武天皇聖跡顕彰碑があることから今回の勉強会開催地とする運びとなりました。

午後一時、等彌神社の拝殿に赴き正式参拝を行いました。

その後、佐藤高静宮司に等彌神社の由緒を説明して頂きました。正式参拝後一同は、鳥見山に登り宮司様の説明を交えながら靈時拝所に向かいました。靈時とは「れいじ」若しくは「まつりのにわ」と読み、現在の神籬祭祀を意味します。神武天皇は神武元年橿原宮で即位され神武四年、大和国でとれた新穀を天津神々に靈時をもうけ大嘗会を斎行なされ大孝を申しました。大孝とは親の教えに従うという意味であり、ここでの親とは天照大神をはじめとする天津神々であります。鳥見山はこの事から大嘗祭が初めて行われた場所であり、この地が国家形成の重要な史跡であります。一同は多田会長先導のもと、靈時拝所

で拝礼を行いました。午後一時半、等彌神社社務所会議室をお借りして宮司様の講話を賜りました。演題は「神武東征と鳥見山の祭祀について」であり、

全国十九カ所ある神武天皇聖跡顕彰碑に関して近畿圏を中心に詳しく説明されました。宮司様は講話で歴史や神話を学ぶ上で、その事象が起こったとされる場所の地理を確実に理解する事が重要であると説かれておりました。聖跡碑を学ぶ機会は今まで勉強会では行われていなかったため、大変意義のある講義であったように感じます。

次に午後三時より鳥見山霊時聖跡顕彰碑の清掃を行いました。当日は生憎雨天であり、雨具を持参している方とそうでない方の二手に分かれ、後者は等彌神社拝殿の清掃に向かっていたいただきました。

拝殿においては拭き掃除を中心に行いました。聖跡顕彰碑の清掃では、ブローアーやさらえを各々が使い、周辺と溝、階段の降り積もった落ち葉を掃き集める作業を行いました。参加者には悪天候で作業が捗らない中、重くなった落ち葉を運ぶのは過酷な作業であったように感じます。

今回の勉強会では、建国の聖地に直接赴くことが出来ました。私どもは清掃奉仕を通じて、改めて神武天皇が残された功績に思いを馳せ確かな知識のもと認識を明らかにすることができたように感じます。

終わりに今回の講話の資料に関して宮崎神宮より「神武さん参り」の資料を快くお貸し頂いた事、また宮司様におかれましては体調の優れないなか、快くお受け頂きました事、誠に感謝申し上げます。
(等彌 尾田)

神青野球練習試合

●兵庫県神道青年会との野球練習試合

平成29年9月25日

場所：鳴尾浜臨海公園野球場

試合結果：12対5で奈良神青の勝利

参加者：奈良10名 兵庫12名

懇親会を西宮ワンカルドにておこなった

●大阪府神道青年会との野球練習試合

平成29年3月15日

場所：橿原市運動公園軟式野球場

試合結果：7対6で奈良神青の勝利

参加者：奈良10名 大阪9名

懇親会を橿原源べいにておこなった



奈良県神道青年会 ホームページのご紹介

当会の活動や会報「青垣」のバックナンバーもご覧いただけます。是非ご覧くださいませ。

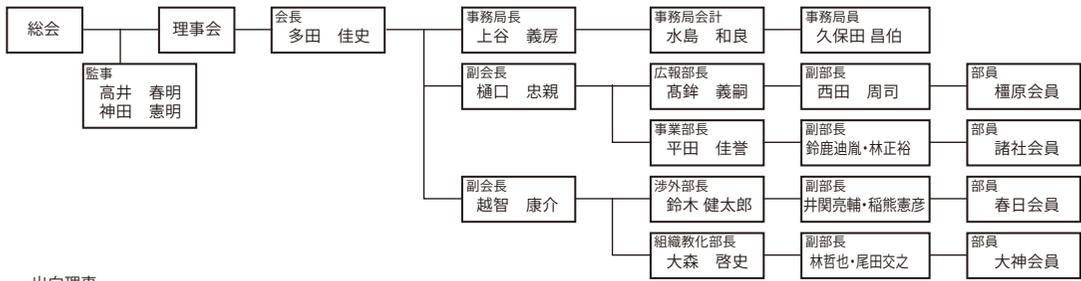
<http://www.narashinsei.com/>

奈良県神道青年会

奈良県神道青年会 活動報告及び計画 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

月	日	内 容	場 所
4月	11日	平成27-28年度第24回(新旧合同第3回)理事役員会	橿原神宮
	11日	会計監査	橿原神宮
	15日	奈良県護国神社春季大祭助勤奉仕	奈良県護国神社
	17日	神道青年近畿地区連絡協議会第1回事業委員会	大阪府神社庁
	24日	平成29年度定例総会	奈良県神社庁
	24日	同懇親会	橿原観光ホテル
	26日	神道青年全国協議会第69回定例総会	神社本庁
5月	8日	神道青年近畿地区連絡協議会第5回役員会(新旧合同)	岸城神社
	12日	平成29-30年度第1回理事役員会	春日大社
	18日	神宮京都奈良三神宮野球大会	橿原運動公園軟式野球場
	23日	神道青年近畿地区連絡協議会第2回事業委員会	虎連坊ヒルトンプラザウエスト店
6月	5日	神道青年近畿地区連絡協議会第6回役員会(新旧合同)	ホテル飯急インターナショナル茶屋町
	5日	神道青年近畿地区連絡協議会平成29年度定例総会	ホテル飯急インターナショナル茶屋町
	6日	神道青年近畿地区連絡協議会野球大会	万博記念公園スポーツ広場
	9日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第66回公演	NPO法人うちの館「藤岡家住宅」
	12日	平成29-30年度第2回理事役員会	大神神社
	19日	石上神宮祓場清掃奉仕	石上神宮
	22日	神道青年近畿地区連絡協議会第3回事業委員会	居酒屋さくら
	28日	兵庫県神道青年会再建50周年記念式典	ANAクラウンプラザホテル神戸
7月	8日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第67回公演	春日大社
	9日	平成29-30年度第3回理事役員会	橿原神宮
	10-11日	禊・鎮魂錬成研修会	石上神宮
	10日	平成29-30年度第1回勉強会(講演 演題「神道行法について」講師 道上昌幸氏)	石上神宮
	18日	神道青年近畿地区連絡協議会第4回事業委員会	虎連坊ヒルトンプラザウエスト店
	19日	奈良県神社庁長杯親睦ゴルフ大会	プレディアゴルフ
	21日	神道青年近畿地区連絡協議会第1回役員会	神仏閣 神戸店
	21日	神道青年近畿地区連絡協議会顧問・参与会	神仏閣 神戸店
8月	5日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第68回公演	橿原神宮
	8日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第69回公演	近鉄百貨店 橿原店
	15日	英霊にこたえる会奈良県本部奈良県出身戦没者追悼式助勤奉仕	奈良県護国神社
	16日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第70回公演	奈良県護国神社
	23日	平成29-30年度第4回理事役員会	春日大社
	24日	奈良県神社庁神宮大麻頒布推進委員会	奈良県神社庁
	27日	奈良県神社庁例祭	奈良県神社庁
	29日	神道青年近畿地区連絡協議会第5回事業委員会	祇をん新門荘
	30-31日	平成29年度神道青年全国協議会夏期セミナー	神社本庁
	30日	奈良県-宮崎県姉妹神宮交流会	鳥貴族 新宿東口店
9月	4日	神道青年近畿地区連絡協議会第2回役員会	湊川神社 楠公会館
	4日	神道青年近畿地区連絡協議会第1回連絡会	湊川神社 楠公会館
	13日	奈良県神社庁長杯親睦スポーツ大会	レインボーワールド 橿原店
	20日	平成29-30年度第5回理事役員会	大神神社
	21日	神話紙芝居団「かたりべまほろぼ」第71回公演	葛本神社
	26日	神道青年近畿地区連絡協議会第6回事業委員会	夢田葡萄酒店
	28日	皇宮開運施設清掃奉仕	京都御所
10月	4日	奈良県神社庁神宮大麻頒布始祭参列	奈良県神社庁
	13日	第12回皇居勤務奉仕「青垣奉仕団」第1回推進委員会	四季遊人 奈良駅前店
	19日	平成29-30年度第6回理事役員会	橿原神宮
	21日	第23回全国戦歿学徒追悼祭奉仕・参列	全国戦没学徒記念「若人の広場公園」
	22日	奈良県護国神社秋季大祭助勤奉仕	奈良県護国神社
	24日	南都聖和会との親睦交流会(AED講習会)	春日大社・チャイナダイニング飛天
	24日	神道青年近畿地区連絡協議会第7回事業委員会	生國魂神社
	26日	奈良県神社関係者大会助勢	橿原神宮義正殿・橿原観光ホテル
11月	9日	第12回皇居勤務奉仕「青垣奉仕団」第2回推進委員会	和民 八木駅前店
	17日	平成29-30年度第7回理事役員会	春日大社
	21日	神道青年近畿地区連絡協議会第8回事業委員会	トラウム
	29日	平成29-30年度第2回勉強会(等彌神社佐藤高静司講話と鳥見山霊時顕彰碑清掃奉仕)	等彌神社・鳥見山霊時顕彰碑
12月	5日	平成29-30年度第8回理事役員会	橿原観光ホテル
	5日	役員忘年会	橿原観光ホテル
	8日	神道青年近畿地区連絡協議会第9回事業委員会	生國魂神社
	11日	神道青年近畿地区連絡協議会第2回連絡会	生田神社会館
平成30年			
1月	1日	会報「青垣」第54号刊行	
	27日	国旗掲揚推進1・27御堂筋7フレード	御堂筋
	29日	平成29-30年度第9回理事役員会	春日大社
	29日	新春互礼会	天うま
2月	11日	橿原神宮紀元祭助勤奉仕	橿原神宮
		奈良県神社庁神宮大麻頒布推進委員会出席	
	26日	奈良県神社庁神宮大麻頒布終了祭参列	奈良県神社庁
3月	7-8日	神道青年全国協議会平成29年度中央研修会	ハウステンボス
	13-14日	神道青年近畿地区連絡協議会第3回連絡会・地区研修会	兵庫県
	19日	奈良県神社庁神職・氏子合同研修会助勢	
	27日	神道青年近畿地区連絡協議会親睦ゴルフコンペ	グランテージゴルフ倶楽部

平成29・30年度 奈良県神道青年会 組織図



出向理事

【神道青年全国協議会】 代議員：多田佳史・樋口忠親 時局対策員：多田佳史	【神道青年近畿地区連絡協議会】 理事：多田佳史・上谷義房 事業委員：平田佳誉・鈴木迪胤 事務局長（30年度）：井関亮輔	【皇居勤労奉仕推進委員会】 委員長：樋口忠親 事務局：畑中秀嗣 委員：森山芳寛 藤木宏昭	【かたりべまほろば】 団長：越智康介 副団長：大森啓史 事務局員：林哲也・尾田交之
---	---	--	---

分 掌	会則施行細則第4条による会務の分掌事項	行事予定
事 業 部	企画・研修・社会奉仕・親睦に関する事項	親睦ゴルフ（11月） 勉強会企画（年3回目安）
渉 外 部	神青協・近畿神青・友好団体との連繋協賛活動に関する事項	三神青野球（5月）南都聖和会（10月） 姉妹神青交流事業 近畿ゴルフ（3月） 神話紙芝居団かたりべまほろば（随時）
組織教化部	青少年団体教化・賛助会員に関する事項	会報青垣作成（原稿写真依頼） ホームページ管理
広 報 部	機関紙並印刷物発行・街頭活動・対外的な広報に関する事項	

【神宮大麻頒布推進委員会】 委員：大森啓史・神田憲明



談山神社

なかむら ゆうき
中村 勇輝

- ① 昭和五十七年九月七日
- ② 慎みて怠ることなかれ
- ③ 旅行・博物館、スポーツ観戦
- ④ 神社仏閣巡り
- ⑤ 宜しくお願いします



大神神社

おのの せいや
大野 誠也

- ① 平成七年一月十四日
- ② 修己治人
- ③ サッカー、ドライブ
- ④ 買い物
- ⑤ 少しでも青年会の活動に貢献できるように頑張ります。



大神神社

なか のぶひと
中 宣人

- ① 平成五年六月三十日
- ② 為せば成る 為さねば成らぬ
- ③ 映画鑑賞、読書
- ④ 友人とラーメン屋巡り
- ⑤ 至らぬ点もございますがどうぞよろしくお願いします。



石上神宮

ふじの やすのり
藤野 泰功

- ① 平成五年五月十四日
- ② 慎みて怠ること莫れ
- ③ ドライブ、社参参拝
- ④ ドライブ、ショッピング
- ⑤ 何卒宜しくお願い致します。



春日大社

とよだ よしあき
豊田 芳亮

- ① 平成六年十一月四日
- ② 明るく楽しく元氣よく
- ③ 映画鑑賞
- ④ 銭湯に行くこと
- ⑤ どうぞよろしく申し上げます。

平成二十九年年度

新入会員紹介

- ① 生年月日
- ② 座右の銘
- ③ 趣味
- ④ 休日の過ごし方
- ⑤ ひとこと



檀原神宮

いせ ともひこ
伊勢 友彦

- ① 平成七年二月二十日
- ② 勸善懲惡
- ③ 野球観戦
- ④ ひとりカラオケ、銭湯
- ⑤ 未熟者ですがよろしく申し上げます。



檀原神宮

たざき ひろゆき
佐々木 浩之

- ① 平成五年十月三十一日
- ② 出来ないのならやるな だけどやれるのなら出来る
- ③ バイク
- ④ ソロツリーング バイク整備 林道探し
- ⑤ よろしく申し上げます

編集後記

会報「青垣」五十四号をお届け致します。先ずはご寄稿、ご協力頂きました皆様にご心より御礼申し上げます。

昨年は、北朝鮮のミサイル問題が世間を騒がし、世界情勢の不安を感じる年となりました。

このような不安を感じる時にこそ、日本の平和の精神を伝える事が大切ではないでしょうか。

我々が活動している奈良県は第一代神武天皇が即位された「日本のはじまり」の地であり、その奠都に際し、神武天皇は人々の平和を願う「八紘を掩いて宇と為さむ（八紘一宇）」の大御心を述べられています。

また、紀元二千六百年（昭和十五年）には、平和を祈る「浦安の舞」がつけられました。

このように、奈良県は「平和の精神のはじまり」の地でもあります。

この精神が世の人々の心に届くよう日々の神明奉仕をつとめ「世のため人のために奉仕し、世界の共存共栄を祈る」事を忘れない様にしたい。

（広報部 高鋒）

平成30年奉祝 奈良県神道青年会 第12回皇居勤労奉仕 青垣奉仕団 団員募集

この度、奈良県神道青年会では、第12回皇居勤労奉仕『青垣奉仕団』を結成致しました。

皇居勤労奉仕は、昭和20年5月の空襲で焼失した宮殿跡の整備を、時の有志が勤労奉仕を申し出たのが始まりで、その後各地の団体からも同様の申し出があり、現在では皇居及び赤坂御用地において、ほぼ毎日ボランティアグループや地域の団体、職場の仲間同士等が、除草、清掃、庭園作業などの奉仕を行っています。

平成30年の佳節をお慶び申し上げるとともに、4日間にわたる皇居・赤坂御用地の清掃を通し、日常では味わう事の出来ない清々しい気持ちを体感し、天皇皇后両陛下より御会釈を賜りました折には、青垣奉仕団一同声高らかに「聖寿万歳」を申し上げ、御皇室国家のご安泰と世界の平和を祈念致したく存じます。

ぜひこの機会に、お一人でも多くの皆様に皇居勤労奉仕へご参加頂きますようご案内申し上げます。

- 実施予定日 平成30年9月3日(月)～7日(金)を第一候補日として申請を致します。

【奉仕は4日(火)～7日(金)の4日間】

(上記日程にて奉仕団体申込多数の場合は宮内庁にて抽選が行われる為、日程が変更になる場合がありますので、ご理解の上お申し込み下さい)

- 参加費 100,000円(予定)《交通費・食費・宿泊費等》
- 募集人数 30名
- 参加資格 年齢15歳以上75歳以下で、奉仕期間中健康に責任の持てる方
- 申込締切 平成30年2月末日(尚、定員集まり次第締め切らせて戴きます)
- お申込み 参加ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ)

- | | | | |
|-------|---------------------------------|-------|-----------------|
| ○廣瀬神社 | 〒636-0051 北葛城郡河合町川合99 | 担当：樋口 | ひぐち ただちか
忠親 |
| | ☎0745-56-2065 FAX. 0745-56-3303 | | |
| ○大神神社 | 〒633-8538 桜井市三輪1422 | 担当：藤木 | ふじき ひろあき
宏昭 |
| | ☎0744-42-6633 FAX. 0744-42-0381 | | |
| ○橿原神宮 | 〒634-8550 橿原市久米町934 | 担当：畑中 | はたなか しゅうじ
秀嗣 |
| | ☎0744-22-3271 FAX. 0744-24-7720 | | |
| ○春日大社 | 〒630-8212 奈良市春日野町160 | 担当：森山 | もりやま よしひろ
芳寛 |
| | ☎0742-22-7788 FAX. 0742-27-2114 | | |